

看護実践と研究成果の見える化

—初心者でもできる量的データ分析方法—

2017年11月5日（日）13：30～14：30

きゅりあん 6階大会議室（品川区立総合区民会館）

産業看護職のみなさん、日々の産業看護活動の実践成果をきちんと労働者や事業場組織に見える化（可視化）できていますか。

看護実践の展開（PDCA）では、Planの段階から、その実践内容について、目的と目標、実施方法および評価方法を決めておくことが必要で、この手順は看護研究も同じです。すなわち看護研究の進め方が理解できていれば、看護実践の成果を「見える化」できることになります。

そこで、本ワークショップは、研究の基礎を理解し、その計画段階から、評価方法までを含んだ計画の立案を体験することで、看護実践の評価方法を体感し、成果の「見える化」の糸口を掴んでいただく機会となるよう企画いたしました。以下を参考に、ぜひご参加ください。

【講師】 松本泉美（畿央大学 健康科学部 看護医療学科 教授）

- 【概要】 1）現象（健康課題）分析や介入（実践）研究の基礎
2）データ収集とその分析
基礎理論と統計解析ソフトSPSSの活用方法
3）分析結果の解釈
実際のデータを基に解説

【定員】 先着60名 残席があれば当日参加も受け付けます。

【受講条件】 これから実践のまとめや研究をしていきたい方

*大学院生および大学教員、研究経験実績のある方を除く

----- 参加される方をお願い -----

次ページを参考に研究計画書を準備し、当日持参してください。

お申し込み方法【事前申し込み制】

ワークショップ「看護実践と研究成果の見える化」事務局（ws_20171105@r2.ucom.ne.jp）宛に以下の内容をメールにてお知らせください。

- ①お名前 ②ご所属 ③メールアドレス ④学会等での研究発表の経験の有無
事前申し込み期日：2017年10月31日（火）

【研究計画書の作成】

完全に書けるかではなく、①テーマ、②対象者、③方法などをどのように書くのか経験していただくことがねらいですので、まずは書いてみましょう。

※「研究テーマ」等一部記載があれば受講可能です。

●様式 A4 WORD 45文字×46行 余白は上下左右20mm

●記載内容

1. 氏名

2. 研究テーマ：研究の対象や場所・研究したい内容(明らかにしたいこと)が入っていること

3. 研究目的：何のために行うのか

4. 研究しようとする問題の背景：なぜ研究しよう・このことを実践しようと思ったのか

5. 研究の意義：実施することによって貢献できること

6. 研究方法

1) 研究デザイン：今回は量的研究（数もしくは質問紙など）を想定

課題探索か介入研究か

2) 研究対象：どこの誰（何人）に対して行うのか

3) データの収集方法：健診結果・質問紙や尺度・測定または実験的なデータか

4) データの分析方法：平均やグループ間での比較、介入前後の比較

5) 倫理的配慮

●記載にあたって

1枚に入るように要点をまとめましょう。